にかさい

江戸川区立第二葛西小学校

令和７年６月１日発行

運動会へのご声援ありがとうございました

副校長　森　賢一郎

５月１８日の運動会におきましては、たくさんの保護者の皆様のご来校、ご声援をいただきありがとうございました。雨のため、１日延期しての開催となりましたが、当日は、気温もそれほど上がらず過ごしやすい一日となり、子どもたちも存分に力を発揮することができました。

開催にあたりましては、５月８日のテント運びから前日、当日の準備、受付、けやき公園やテラスの安全管理、片付けに至るまで、PTA、おやじの会、ボランティアの皆様に多大なるご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。また、全ての保護者の皆様には、子どもたちを毎日元気に送り出していただくことで、日々の練習を支えていただきました。本当にありがとうございました。

大きな行事からの学びを生かしながら、子どもたちがさらにたくましく、前向きに学校生活を送ることができるよう、教育活動を進めてまいります。６月は学校公開を予定しています。頑張る子どもたちの日常を、ぜひ多くの方々にご参観いただきたいと考えております。皆様のご来校をお待ちしています。

▽ ▲ ▽ ▲ ▽ ▲ ▽ ▲ ▽ ▲ ▽ ▲ ▽ ▲ ▽ ▲ ▽

プロセスの中に潜む「学び」に目を向ける

今年の運動会は、午前の部が白組の勝利、午後の部が赤組の勝利で幕を閉じました。物事には「区切り」や「終わり」があり、その瞬間には「勝ち・負け」「成功・失敗」「目標の達成・未達成」などの結果が生まれます。良い結果が生まれれば、喜びや達成感が生まれ、思うような結果に至らなかった場合には悔しい思いをしたり落胆したりすることもあるでしょう。物事の多くには、結果が求められますし、私たちは最良の結果を目指して努力を重ねていくのですから、「結果」がどうであったかは非常に重要です。

一方で、私たちは一つの結果を得るために、その何倍もの時間と労力を、それまでの「過程＝プロセス」に費やします。様々な試行錯誤を繰り返し、小さな成功や失敗を積み重ね、多くの人と関わりながらゴールを目指す、この「プロセス」にも非常に多くの「学び」が潜んでいます。

今回の運動会、子どもたちは当日までのプロセスの中で、どんな出来事を経験し、どんな感情の変化があり、どのように人と関わってきたのでしょうか。ゴールの瞬間は「勝って嬉しい」「成功してよかった」「負けて残念」などという気持ちで頭がいっぱいになります。けれども、一息ついた後に、落ち着いてそのプロセスを振り返ることができると、「結果以外（以上）の大切なこと」に気付くことができます。そのプロセスの中から、たくさんの価値ある経験を発見できれば、嬉しい結果はより印象に残るものに、不本意な結果も受け入れられるものになるかもしれません。

プロセスに潜む「学び」に目を向けられる人は、経験を自分の成長につなげ、物事を肯定的にとらえることができるようになります。子どもに対しても、「結果」を受け止めつつ、それまでの「プロセス」にも目を向けて話をする中で、大いに認めてあげたり、共感したりしながら、大切なことに気付かせてあげたいものです。

“旅行の思い出”を“おしゃべり”するように…

「プロセスに目を向ける」というと、難しく感じるかもしれませんが、旅行の思い出をおしゃべりする場面を思い描いてみてください。「無事に帰ってきた」という「結果」は何よりも大切なことですが、「思い出」を振り返ろうとすれば、美しい景色やおいしい食事、宿の印象や移動中のおしゃべりなどが浮かぶでしょう。自分で計画した旅行なら、準備や計画の段階の話も思い出されるもしれません。まさに「思い出」は「プロセス」の中に詰まっています。「また行きたい」「もっとほかのところにも行きたい」という意欲、歴史や文化、地元の方との触れ合いからの学び、感情が揺さぶられた経験は、次の旅行、その先の人生の様々な場面にも大いに影響を与えることでしょう。

学校でも、日常の経験をより価値のあるものにする、効果的な「振り返り」を大切にしています。ご家庭でも、行事、学期末、習い事の発表、テスト、一日、一週間、一月…様々な節目で、「学び」のいっぱい詰まった「プロセス」に目を向けた会話を、楽しんでみてはいかがでしょうか。

※　６月の暗唱は引き続き「いろはうた」です。練習した暗唱は、ぜひご家庭でも聞いてあげてください。